

05.27
05.28

MoMAK開館60周年
1963年の映画たち

1963

同時開催の展覧会
Re: スタートライン 1963-1970 / 2023
現代美術の動向展シリーズにみる美術館と
アーティストの共感関係
2023年4月28日(金)ー7月2日(日)

05/27 土 14:00-15:49

嵐を呼ぶ十八人

—
(109分・35mm・白黒)
1963(松竹京都)
監・脚 吉田喜重 原 皆川敏夫
撮 成島東一郎 美大角純一 音 林光
出 早川保、香山美子、殿山泰司、芦屋雁之助、
根岸明美、浦辺粂子、浪花千栄子

—
松竹副社長の城戸四郎が、吉田喜重監督に
京都の映画人の高度な技を経験させようと
提案したという作品。造船所で働く社外工の
島崎(津川)が管理する寮に入寮したのは、大
阪から集団就職してきた18人の無軌道な若
者たち。ある日、島崎の知人女性が何者かに
襲われる事件が起きる。資本家・労働者の二
項対立を超えた斬新な演出により「社会派
映画」への批判的返答と評される重要作。



嵐を呼ぶ十八人 ©1963松竹株式会社

05/28 日 14:00-15:38

五十万人の遺産

—
(98分・35mm・白黒)
1963(宝塚映画=三船プロ)
監・出 三船敏郎 脚 菊島隆三
撮 斎藤孝雄 美村木与四郎 音 佐藤勝
出 三橋達也、仲代達矢、山崎努、堺左千夫、
田島義文、土屋嘉男、浜美枝、星由里子、
中村哲、山田桂子

—
戦時中に日本軍が隠した7億円相当の金貨
を求めて5人の男が密輸船でフィリピンに上
陸、山奥を舞台に裏切りと疑心まみれた大
冒険を繰り広げる。1962年に設立された三
船プロダクションの記念すべき第1作にして、
戦中派としての想いを込めた三船敏郎唯一
の監督作。編集にかかわった黒澤明をはじ
め黒澤組のスタッフが集結し、フィリピン現地
ロケを行うなど、壮大なスケールの活劇に仕
上げている。



五十万人の遺産 ©1963 TOHO CO., LTD.

08.26
08.27

映画監督 五所平之助
戦後の挑戦

HEINOSUKE
GOSHO

同時開催の展覧会
走泥社再考
前衛陶芸が生まれた時代
2023年7月19日(水)ー9月24日(日)

08/26 土 14:00-15:57

愛と死の谷間

—
(117分・35mm・白黒)
1954(日活)
監 五所平之助 脚 椎名麟三
撮 小原譲治 美松山崇 音 団伊玖磨
出 津島恵子、芥川比呂志、乙羽信子、
宇野重吉、木村功、高杉早苗、安西郷子、
北林谷栄、中村是好、左ト全、伊藤雄之助

—
製作再開した日活に招かれた五所平之助は、
製作したい企画に取り組める機会に際し、小説
家の椎名麟三にオリジナル脚本を依頼。米
国の水爆実験などによる社会不安を背景に、
ヒューマンズムを理想としながらも不条理な
現実揺れ動く女医(津島)と彼女を尾行する
探偵(芥川)の葛藤を、細やかなカット割りで描
く。新鶴見操車場で撮影が行われ、汽車の
黒々とした煙が画面を覆い、全篇に人類の
終末の空気がみなぎる不穏な作品。



愛と死の谷間 ©日活

08/27 日 14:00-15:36

わかれ雲

—
(96分・35mm・白黒)
1951(スタジオ・エイト・プロ=新東宝)
監・脚 五所平之助 脚 岡岡謙之助、田中澄江
撮 三浦光雄 美久保一雄 音 斎藤一郎
出 沢村契恵子、沼田曜一、川崎弘子、三津田健、
福田妙子、倉田マユミ、谷間小百合、
岡村文子、中村是好

—
旅先の小淵沢で病に臥せった女子大生(沢村)
が、人々の善意に触れて心身ともに回復して
いく様を優しく見つめた作品。五所平之助が
起こしたスタジオ・エイト・プロの第1作で、五
所の娘の境遇をモデルにしている。低予算の
ためオール・ロケで撮影し、八ヶ岳周辺の美
しい風景をとりこんだ。今回上映するのは、可
燃性オリジナルネガから2018年に作製した
プリントで、階調豊かな白と黒と、シャープな
画質を楽しめる。



わかれ雲 ©国際放映

11.25
11.26

それぞれの青春
アイドルと映画

IDOL
AND
MOVIE

同時開催の展覧会
京都画壇の青春
植鳳、松園につづく新世代たち
2023年10月13日(金)ー12月10日(日)

11/25 土 14:00-15:27

ブローアップ ヒデキ

—
(97分・35mm・カラー)
1975(松竹=芸映プロ)
構成・監 田中康義
撮 坂本典隆、羽方義昌 美 横山豊
出 西城秀樹、藤丸バンド、永尾公弘とザ・ダーツ、
クル クル、悠領泰則、秦野真雄、一の宮はじめ

—
“ウッドストック”のような野外コンサートを企
図した一大ツアー「西城秀樹☆75 全国縦断
サマー・フェスティバル」の密着ドキュメンタ
リー。富士山麓で30mクレーン3台を駆使
したロックなライブを皮切りに、北海道から
沖縄、ラストの大阪球場まで、時代を疾走す
る20歳の秀樹と仲間、ファンの熱い夏を描く。
ロックコンサートの記録映画は当時アメリカ
で多く製作されていたが、その日本版の嚆矢
としても重要な作品。



ブローアップ ヒデキ

11/26 日 14:00-16:10

セーラー服と機関銃 完壁版
[再タイミング版]

—
(130分・35mm・カラー)
1982(キティ・フィルム=角川春樹事務所)
監 相米慎二 原 赤川次郎 脚 田中陽造
撮 仙元誠三 美 横尾嘉良 音 星勝
出 薬師丸ひろ子、渡瀬恒彦、三國連太郎、
風祭ゆき、柄本明、寺田農、佐藤允、北村和夫、
大門正明、林家しん平、酒井敏也

—
薬師丸ひろ子の主題歌とともに大ヒットを記
録した1981年の作品で、「完壁版」はカットさ
れていた場面を追加して翌年に公開された。
平凡な女子高生の星泉(薬師丸)は、ある日突然、
弱小やぐざの組長になる。相米慎二監督特
有の極端な長回しが、ストーリーの突飛さも
凌駕し、強い印象を残す。公開当時の色を再
現するために、2017年に再度タイミング(色彩
補正)して上映用フィルムを作製した「再タイ
ミング版」で上映する。



セーラー服と機関銃 ©1981角川映画

2023

Looking back on
Postwar
Japanese cinema

MoMAK
FILMS 国立映画
アーカイブ
所蔵作品選集

PROGRAM

開館60周年記念

戦後日本映画

を振り返る

2023

05.27-28

08.26-27

11.25-26

2024

02.24-25